

分野別計画

生活と廃棄物

この分野は、「ライフスタイル」に関わる要素のうち、購買、消費、ごみの排出、生活排水といった生活と廃棄物に関する行動・行為を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

【購買】

環境にやさしいものが選択され、
ゴミが少なくなっている

【消費】

修理したり使い方を工夫して、
ものを大切に使い切っている

【リサイクル】

分別が徹底され、
リユース(再使用)・リサイクル(再資源化)をしている

【排水】

魚が住めるきれいな川になるように、
家庭からの排水にも気をつけている



■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

No.	指標名	現状値 [H. 14]		短期目標 [H. 20]	長期目標 [H. 35]
J 1	1人1日当たりのごみ排出量	881	g/人・日	800	800
J 2	リサイクル率	22	%	30	50

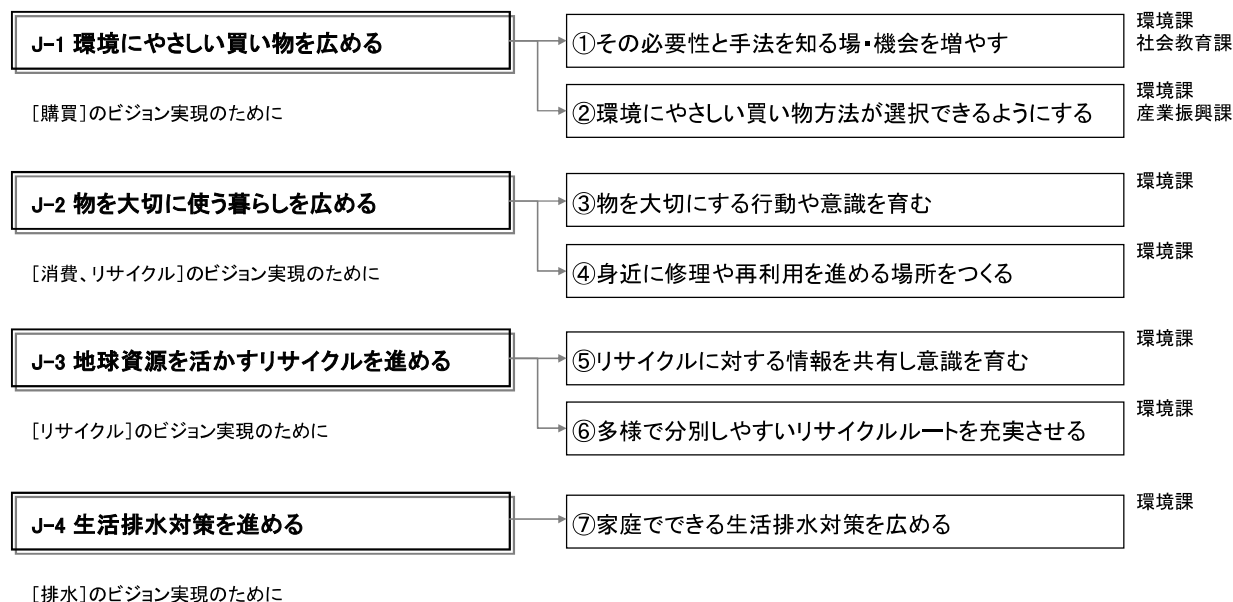
[検討・把握する環境指標] 生ごみリサイクル世帯数

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしてこう！



環境まちづくりプログラム

■ 施策の体系 ■



J-1 環境にやさしい買い物を広める

なぜ買い物時に環境配慮する必要があるか、どのように配慮する必要があるかなど、その必要性や方法を周知することにより環境にやさしい買い物を広めていきます。また、販売店側の環境にやさしい商品の品揃え拡大を進めていきます。

[施策メニュー]

- ① ★あらゆる教育の機会での啓発、★市民運営による教育・情報センターの設立、老人会・PTAなど地域での活動との連携による啓発、★広報・ミニコミ・インターネットによる啓発、エコ住宅ガイドライン日進版の作成
- ② ★環境にやさしい買い物方法の明確化、有害物質を出さない商品選択の普及、★グリーン購入³⁹の普及、すべての商品への環境配慮要請、過剰包装を減らす取組、計画購入の啓発、マイバッグの普及、お店と消費者タイアップによる啓発やイベント開催、エコ生活の達人を紹介する「エコひいき」コーナーの商店への設置、★グリーンコンシューマーガイドブックの作成と普及

³⁹ 製品やサービスを購入する際に、その必要性をよく考え、価格や品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ少ないものを優先して購入すること。

J-2 物を大切に使う暮らしを広める

物を永く大切に使うことは、ごみを減らし、商品製造時のエネルギーを節約することになることから、環境にやさしい行動の一つといえます。そのため、物を大切にすることを養うとともに、フリーマーケットなどによる不用品交換の場や気軽に修理できるような場を増やしていきます。

[施策メニュー]

- ③ 修理方法を指導してくれる自己修理場所の整備、フリーマーケット・修理場所などの情報提供、★エコクッキング⁴⁰の普及
- ④ 参加しやすいフリーマーケット等不用品再利用の場の整備、学生の不用家具のストックヤードの整備や情報提供、リサイクルショップの普及と情報提供、市民リサイクルショップの経営

J-3 地球資源を活かすリサイクルを進める

不用となって捨てられるごみも分ければ再び資源として利用できるものが多くあります。このようリサイクルは地球の有限な鉱物資源などの枯渇を防ぎ、エネルギー消費量も低く抑えられるため積極的に進めていきます。

[施策メニュー]

- ⑤ リサイクルの流れの情報提供、分別方法の町内ごとの説明会の開催、資源回収場所の情報提供、市民団体によるリサイクル情報の発信、☆容器包装リサイクル法・家電リサイクル法に基づく計画的な回収、☆循環型社会に対応した地区回収拠点の整備
- ⑥ 分別方法の統一化、廃品回収団体の育成、身近な回収場所の確保、販売店での引き取りの強化、生ごみ処理機の普及、堆肥づくりの会の設立と堆肥利用の推進

J-4 生活排水対策を進める

川や海の有機性の汚れの7割前後は、家庭からの生活排水と言われています。特に、浄化槽などで処理されず台所や洗濯場などから排出される雑排水が大きな原因となっています。下水道や合併処理浄化槽の普及を進めるとともに、排出源対策として家庭における雑排水をできるだけきれいにする取組を進めます。

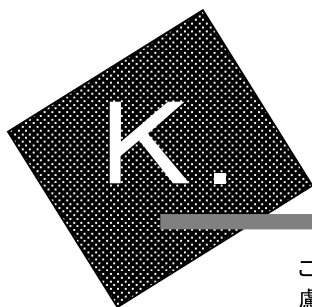
[施策メニュー]

- ⑦ アクリルたわし⁴¹など洗剤を減らすことができる洗い方の普及、何が水にやさしいかのハウツー情報提供

⁴⁰ 旬の食材を上手に使い切り、エネルギーの無駄や生ゴミ・汚水を減らす、環境に配慮した調理方法のこと。

⁴¹ アクリル素材の糸を編み上げたたわしで、洗剤をつけなくても汚れが落ち、洗剤使用量を減らすことができる。

分野別計画



事業活動・公共事業

この分野は、「ライフスタイル」に関わる要素のうち、市内のあらゆる事業活動における環境配慮を対象としています。事業活動の中には公共事業も含まれ、特に市町村が行うごみ処理は公共事業の中でも大きな環境負荷を与えるものとなっています。それに関連して不法投棄やフロン対策についてもこの分野で扱っています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

【事業活動】

利益や効率だけを追求せず、
環境のことを考えて、
できることから実行している

【ごみ処理】

出すゴミが最小限になり、
適正に処理されている

【不法投棄】

不法投棄が壊滅されている

【フロン】

フロンが適正に処理され、
地球環境が守られている



■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

No.	指標名	現状値 [H. 14]		短期目標 [H. 20]	長期目標 [H. 35]
K 1	環境配慮宣言店舗数	—	店	対象店舗の1%	対象店舗の10%
K 2	市役所環境保全のための行動計画達成率 (目標値は策定される行動計画による)	0	%	100%	100%

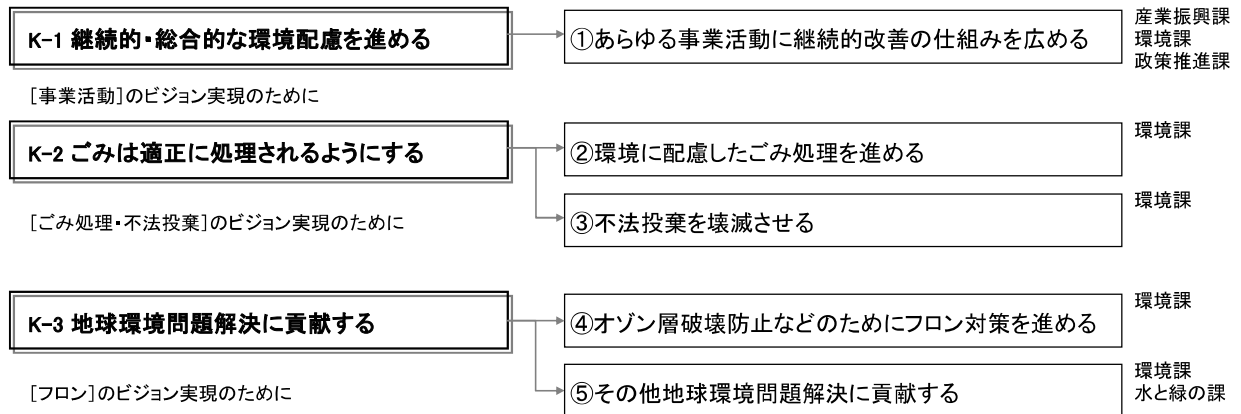
[検討・把握する環境指標] 環境配慮宣言事業所数 (ISO14001認証取得など)

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしていこう！



環境まちづくりプログラム

■ 施策の体系 ■



K-1 継続的・総合的な環境配慮を進める

事業活動には、製造業、運輸業、小売業、サービス業など様々な業態があり、その活動は直接、間接を問わず環境へ影響を与えています。あらゆる事業活動に総合的な環境配慮の視点を組み込み、地域および地球への環境影響を継続的に減らしていきます。

[施策メニュー]

- ① ISO取得の支援、事業所における環境改善委員会の設置促進、事業所における環境学習の推進



▲環境対策が施された東郷美化センター



▲市役所での環境配慮活動の様子

K-2 ごみは適正に処理されるようにする

市内から排出される一般廃棄物は、より環境にやさしい処理方法を選択し適正に処理するとともに、民間における産業廃棄物が不法投棄など不適切に処理されないようにしていきます。

【施策メニュー】

- ② より環境にやさしいリサイクル先の選択、適正処理に合った分別の徹底、ダイオキシン・二酸化炭素の削減に向けたごみ処理の推進、市民のごみ処理施設見学会の開催
- ③ 不法投棄の現状の周知

K-3 地球環境問題解決に貢献する

オゾン層の破壊、熱帯林の減少などの地球環境問題にも直接・間接に私たちの生活が関係しています。同じ地球に住む地球市民として、これらの地球環境問題の解決に地域から取り組んでいきます。

【施策メニュー】

- ④ フロンの確実な回収、ノンフロン化の推進
- ⑤ 地球温暖化防止の観点からの緑地の位置づけと保全、☆地球環境問題に対する適切な対応策の検討



▲こどもプロジェクト「デリートカップパーズ」による不法投棄現場調査



▲こどもプロジェクト「調べ隊」によるフロン回収工場の見学

L. 場所のつながり

この分野は、「コミュニティ」に関わる要素のうち、近くに暮らす人々のつながりを対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

【世代間交流】

世代を超えてあいさつのできる
まちになっている

【小学校区単位】

小学校区単位のコミュニティが
市民の絆になっている

【公共場所管理】

公民館など市民がもっと
気楽に出入りできる

【身近な相互扶助】

知恵や経験を伝え合い
助け合えるまちになっている



■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

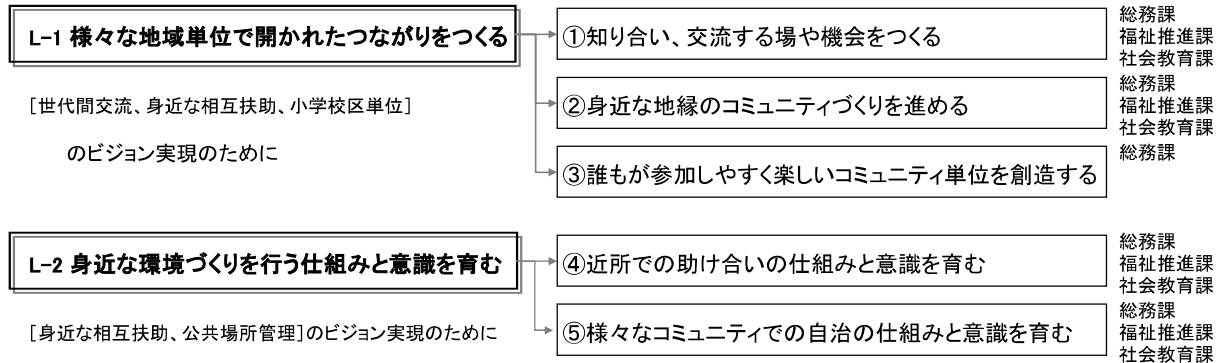
No.	指標名	現状値 [H. 14]		短期目標 [H. 20]	長期目標 [H. 35]
L 1	理想とする小学校区コミュニティ数	—	地区	1	8

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしていこう！



環境まちづくりプログラム

■ 施策の体系 ■



L-1 様々な地域単位で開かれたつながりをつくる

既存の地縁コミュニティを活性化させるとともに、誰もが参加しやすく楽しいコミュニティとして7つの小学校区の持ち味を活かしたコミュニティづくりを進めることで、地域における開かれたつながりをつくり、みんなが主役で楽しく輝くまちをめざしていきます。



▲市民開放施設を併設した梨の木小学校

[施策メニュー]

- ① ★地域の人が交流する様々な目的・活動の調査・研究、★身近な交流の機会の創出とネットワークづくり、通学路の周知とオアシス⁴²運動、子どもへの声かけ運動、地域ごとの手づくりの活動の企画立案の促進、高齢者・児童の交流の機会創出、使いやすい集会所の充実、☆福祉会館に地域コミュニティ機能を持たせ中間年齢層を取り込んだ世代間交流の推進
- ② おまつり・年中行事の充実、地域リーダー・世話役の育成、若い世代（壮年期）の参加、地域の長老など語り部人材バンクの創出
- ③ ★小学校区単位での理想のコミュニティづくり、住民による住民のためのルールづくり、★教養を高め娯楽のできる場（コミュニティセンター等）づくり、★コミュニティ政策の研究とコミュニティ課の創設検討

⁴² おはよう、ありがとう、失礼します、すみませんのあいさつ。

L-2 身近な環境づくりを行う仕組みと意識を育む

様々なコミュニティ単位でのつながりづくりの中から、一つのテーマとして身近な環境づくりが自発的に生まれるような仕組みや意識を育んでいきます。

[施策メニュー]

- ④ 情報の受発信の場の確立、エコマネー⁴³の流通、☆自主防災組織の育成・強化の推進
- ⑤ ★利用しやすいコミュニティ施設の整備と地域での自主管理の推進、★地域の伝統・行事の伝承、地域で伝統・技術を持った人の発掘と活用、学び教える場（寺子屋等）の創出、地域リーダー養成学校（講座）、関心・テーマごとのコミュニティとのネットワークづくり



▲地域参加による学習林づくり(東小学校)



▲地域の盆踊り大会(赤池)



⁴³ 地域における経済循環を活性化させ、地域内循環を実現するための手段として、財やサービスをやりとりするシステムのこと。地域内通貨として機能し、通常では貨幣評価しにくい環境・福祉・文化などにかかわる財・サービスについて価値づけを行う手法として有効であるといわれている。